

仕 様 書

1 件 名

防災服ほか

2 品目・数量

- | | |
|-------------|-----|
| (1) 防災服上下 | 20着 |
| (2) アポロキャップ | 20個 |
| (3) ベルト | 20本 |
| (4) 編み上げ靴 | 20足 |

3 仕 様

- | | |
|-------------|---------------------|
| (1) 防災服上下 | 別紙1参照 |
| (2) アポロキャップ | 別紙2参照 |
| (3) ベルト | GI ベルト [ナイロン製] (青色) |
| (4) 編み上げ靴 | ジーベック製 品番：85027 |

※ 編み上げ靴は、上記銘柄または上記銘柄後続品であること。

4 納入場所

宇都宮市 危機管理課

5 納入期限

令和2年5月29日(金)

6 その他

事前に担当課と協議のうえ、当市指定職員20名の採寸を実施し、防災服上下・アポロキャップ・編み上げ靴のサイズを確認すること。

また、納入予定日を担当課と十分協議のうえ、指示する場所に納入すること。

職 員 用 防 災 服 仕 様 書

宇 都 宮 市

職員用防災服仕様書

(総 則)

1. この仕様書は、宇都宮市職員用防災服について、必要な事項を定めることを目的とする。
2. この防災服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優美な製品であること。
3. 本仕様書内容について、疑義が生じた場合は、担当者と協議の上、解決すること。

(仕 様)

1. 使用材料

(1) 生地一般

- ア 原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。
- イ 織上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものである事。
- ウ 付属品等は、全て使用目的に適合した材質のものである事。

(2) 使用生地は、下記のとおりとする。

生地（本体用）：(株) クラレ RE89747 ブルー（当市指定色）

生地（配色用）：帝人（株） T81535 イエロー（当市指定色）

※配色用生地を下記の箇所に使用する。

上衣：前身頃上部、背ヨーク、衿縁、肩章裏、ポケットフラップ裏

ズボン：脇ポケットフラップ裏

(3) 芯地、マーベルト

芯地、マーベルトは当市の承認を得たものとする。

(4) その他

ア ボタン

樹脂ボタン（径 15 mm）を上衣前中心の第一ボタン、袖口、袖ロールアップ用、肩章、鼻天狗止めに使用する。

イ ファスナー

上衣前合わせ、天狗前立てにする。

ウ 糸

地縫い、飾り縫い、かんぬき、穴かがりは、同系色 #50 とする。

2. 形状及び寸法

(1) 形状

- ア 上衣は、シャツ型、付け袖とし、前ファスナー開き、袖口剣ボロ付カフス式ボタン止め、前後ヨーク、胸左右にフラップ及びアウトポケット付、肩章及台衿付シャツカラーとする。

イ ズボンは、帯付きツータック、前ファスナー開き、左右フラップ付脇ポケットとする。

3. 縫製

(1) 一般的事項

ア 各部の縫合いは、優良で縫い代が適当であること。

イ 縫い目の飛び、外れがないこと。

ウ 糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりのないこと。

エ 縫い目数は次のとおりとする。

・地縫い運針数 12針以上／3cm間

・飾りステッチ運針数 12針以上／3cm間

オ 飾りステッチ幅約0.5cmで、特に指定する部分は、端ミシンとし、配色地部分のステッチについては、生地と同系色とする事。

カ ボタン穴は、穴かがりとする。

キ 各部の合標、曲線に十分注意すること。

ク アイロン仕上げには、十分注意すること。

ケ 接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式芯張りプレス機を用いて、全面接着すること。

コ 布目は、パターン指定通りとすること。

(2) 上衣

ア 衿

(ア) 上衿の剣の長さは、約9cmとし、幅は背中心で約5cmとする。

(イ) 台衿にて上衿を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。衿付けは、2条縫いとし、下部の1条は、裏を落とす。

(ウ) 上衿の周囲（下部を除く）に飾りミシンをかける。

(エ) 台衿中央に幅約1cm、長さ約5.5cmの衿吊りを縫い付ける。

(オ) 上衿の縁に配色用生地を使用する。

(カ) 台衿はボタン止めとする。

(キ) 台衿中央にサイズマークを挟み縫いする。

イ 袖及びカフス

(ア) 袖は、1枚袖とし、剣ボロ付のボタン止めとする。袖縫いは、インターロックミシン縫いとし、カフスのボタンは、送りボタン付とする。

(イ) カフスには芯を入れ地縫い返しし、1条の飾りミシンをかける。カフス幅は約5cm、剣ボロの開きは約12cm、長さは約16.5cmとする。

(ウ) 外側に深さ約2cmのヒダを2本取り、袖開きの方向へ倒す。

(エ) 袖の肩章より約14cm下がり袖山中央より後側にロールアップ帯受けボタンを縫い付ける。

ウ ロールアップ

(ア) 袖内側の肩より約14cm下がりの位置に幅約1.5cm、長さ約23.5cmの帯を縫付け返しミシンをする。帯の先端は約3cm折り返しボタン穴をかがる。

エ 袖付け

- (ア) 袖付けは、身頃のくりをのばさないように、インターロックミシン縫いとし周囲に約0.5cmの飾りミシンを掛ける。
- (イ) 袖脇下部に通気穴を施す。

オ 脇縫い

インターロックミシン縫いとし片倒しとする。

カ 胸ポケット

- (ア) 左右前身頃にフラップ付アウトポケット（幅約13.5cm、深さ約1.5cm）付きとする。
- (イ) ポケットは、端飾りミシンで縫い付ける。
- (ウ) 口布は約3cmとし、内側へ折り返して、端は押さえ縫いし、裁ち目はオーバーロックかがりとする。
- (エ) ポケット中央部に幅4cm、折り返し約1.5cmの箱ヒダを入れる。
- (オ) 上部2箇所（縦2cm・横約3cm）の面ファスナーを縫い付ける。
- (カ) フラップに、芯を入れ、裏側の2箇所にA面（縦2cm・横約3cm）の面ファスナーを縫い付ける。周囲に飾りミシンを掛ける。
- (キ) 左フラップの中心より約1.5cm右側に幅約3cmのペン差しを設ける。
- (ク) フラップ裏には、配色用生地を使用する。

キ 前合わせ

- (ア) 前合わせの開閉は、台衿ボタン、ファスナー及び、マジックテープ止めとする。
- (イ) 上前は、前端より約4cm奥に2条ミシンで縫い付け、ファスナーテープを見返しに挟み縫いする。
- (ウ) 下前は、ファスナーテープを身頃と見返しに挟み、地縫い返しし1条の飾り縫いとする。
- (エ) 上前にA面、下前にB面（各：縦3cm・横2cm）の面ファスナーを台衿下より約6cm下がり、約2.5cm下がり、約4.5cm下がりの3箇所に縫い付ける。

ク 肩章

- (ア) 肩章は、周囲を地縫い返しし、約0.5cmの飾りミシンをかけ、ヨーク先端に揃え、袖付けに挟み縫いする。先端は、剣型とし、ボタン穴をかがり、ヨーク部側にボタンを付ける。
- (イ) 肩章の袖付け部分は、浮かしてクロスに飾りステッチをかける。
- (ウ) 肩章の裏側には、配色用生地を使用する。

ケ ヨーク

前ヨークは前身頃と地縫い返しし、フラップを挟み、1条の飾りミシンを掛ける。前身頃上部より全面に配色用生地を使用する。

コ 後身頃

背の両側に最深部約3cm、長さ約4.5cmのノーフォークを付け、上部より全面に配色用生地を使用し、両端1.6cm、中心部1.9cmのV字型とする。

背ヨークは、後身頃と共に前ヨークに挟み縫いし、下部は端飾りミシンで縫い付ける。

サ 標識

- (ア) 左胸ポケット上部に【宇都宮市】の刺繍を入れる。字体・サイズ及び色については、当市指定とする。
- (イ) 背ヨークにプリントを施す。
文字内容は、上段に【宇都宮市】、下段に【UTSUNOMIYA CITY】とし、字体・サイズ及び色については、当市指定とする。

シ 裾

三つ折りの平裾とし、端縫いをする。

ス 片布、品質表示、サイズ札

指定位置に縫い付ける。

(3) ズボン

ア 脇ポケット

- (ア) 斜めポケット（口巾約 18 cm）を左右脇に各 1 個付ける。
- (イ) 口布は表地を中心で 1. 5 cm 以上折り返し、ステッチを入れ、向当布は脇縫い目から表地にて 5 cm 以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。
- (ウ) 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりとする。
- (エ) 口の下端はかんぬき留めをし、ポケット袋は地縫い返ししステッチをかけ、上端は表裏とも必ず 1 cm 以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで行う。右のみ内部に、斜め口の小ポケットを付ける。
- (オ) 雨蓋（隅切り）付き貼り付けポケットを左右脇に各 1 個付ける。
- (カ) 腰帯下端より 2. 5 cm（標準）下部の表生地にて、二方マチ仕立てにて縫い付ける。ポケット口上部には、B 面（縦 2 cm・横 7 cm）の面ファスナーを付ける。
- (キ) ポケットの深さは約 20 cm、口巾は約 17 cm とする。
- (ク) 雨蓋は芯を入れ、表地に縫い付ける。雨蓋裏には、A 面（縦 2 cm・横 7 cm）の面ファスナーを付ける。また、周囲にはコバステッチをかける。
- (ケ) 雨蓋の寸法は、巾 18. 5 cm、高さ 7. 5 cm を目安とする。
- (コ) 雨蓋の裏面に配色用生地を使用する。

イ 尻ポケット

- (ア) 片玉縁作りの切り込みポケットを左右に設ける。
- (イ) ポケット口（巾 14 cm）の周囲はコバステッチをかけ、両端はかんぬき留めをする。
- (ウ) 左のみボタン穴をかがり、ポケット口下部には相方のボタンを付ける。
- (エ) 向当布は巾 4 cm 以上、裁ち目はオーバーロックかがりし、袋地に縫い付ける。
- (オ) ポケット袋は地縫い返しし、ステッチをかける。
- (カ) 上端は表裏とも必ず 1 cm 以上腰帯にかかるようにする。

ウ タック

外向きタックを左右に各 2 本設ける。

エ 腰ダーツ

左右腰後部に各 2 本設け片倒しする。

オ 天狗及び前立

(ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。

(イ) 天狗の鼻は島で持ち出し、先端にボタン穴をかがり、前立側マーベルト下部に相方のボタンを縫い付ける。

(ウ) 前立は芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりする。

(エ) 前立飾りは、巾 3. 5 cm とする。

(オ) 天狗、前立上部に座金前カンを付け、位置は腰帯巾の中央にする。

(カ) 小股上のファスナー止まりに、天狗裏側から前立とともにかんぬきを入れる。

カ ファスナー付け

(ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟んで縫い付ける。

(イ) 前立側は前立裏に 2 条にて縫い付ける。

キ 脇縫い及び内股縫い

(ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。

(イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりする。

ク 尻縫い

(ア) 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。

(イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりする。

(ウ) 棒シックは、股ぐりに沿って縫い付ける。

ケ 腰裏

(ア) マーベルトを使用し、前立側両端はそれぞれ天狗と前立ての前カンの下まで入れる。

(イ) 後部（尻縫い目）は縫い割りする。

(ウ) 左右脇縫い目の個所で、後身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。

(エ) 伸縮テープはマーベルト内側に入れ、表側に露出させてはならない。

(オ) 後身側の腰裏下端は、脇縫いの個所で表地に通してかんぬき留めをする。

コ 腰帯

(ア) 巾は 3. 5 cm とし、脇縫いの個所で後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。

(イ) 腰帯内部に伸縮テープ（露出不可）を入れ、前身側と後身側が互いに引き合い、左右各 2. 5 cm 以上（ウエスト周りとして 5 cm 以上）腰廻りの拡張が出来るようにする。

サ ベルトループ

(ア) 前身頃、脇縫い、後身頃、尻縫い両脇の 8 本付けとする。

(イ) 巾約 2 cm ・長さ約 5 cm とする。

シ 裾

(ア) 折り返し巾 3 cm以上とする。

ス 片布、品質表示、サイズ札

指定位置に縫い付ける。

4. 補則

(1) 梱包

プレス後、適切な方法で折り、1 点ずつビニール袋に収納する。

(2) 採寸

別紙サイズ表のサイズ構成とし、ゲージ服を使用する。

5. 提出書類等

落札業者は原反生産者の発行する原反引受証明書を提出する事。

6. 納入期限及び数量

(1) 納入期限 令和 2 年 5 月 2 9 日

(2) 数量	上衣	2 0 枚
	ズボン	2 0 本

上衣（単位：cm）

サイズ表示	首廻	胸囲	肩幅	袖丈	着丈
AS	37	100	43	54	80
AM	39	105	45	56	80
AL	42	110	47	58	83
ALL	44	115	49	60	83
A3L	45	120	51	63	83
BS	39	110	46	53	80
BM	41	115	48	55	80
BL	43	120	50	57	83
BLL	45	125	52	58	83
B3L	47	130	54	62	83
許容差	±1.0	+2.0 -1.0	±1.0	±1.0	+1.5 -1.0

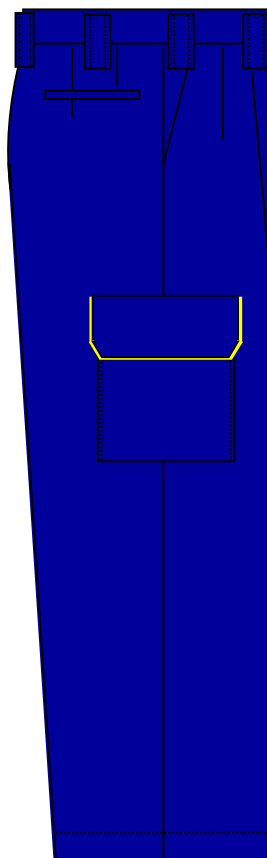


ズボン（単位：cm）

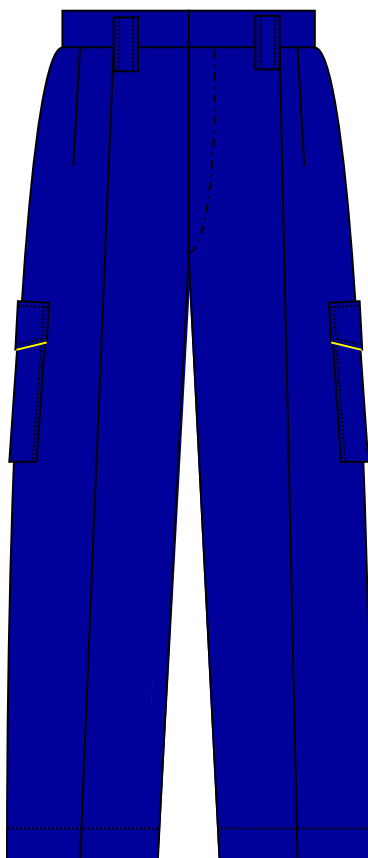
サイズ表示	ウエスト	股上
1	70	26
2	73	26
3	76	27
4	79	27
5	82	28
6	85	28
7	88	28
8	91	28
9	95	29
10	100	30
11	105	30
12	110	32

※股下は74cmを基準とし、±2cm単位の調整をする。

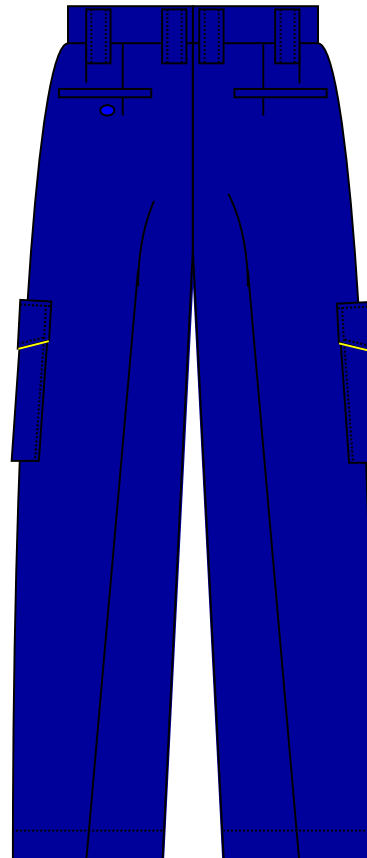
側 面



前 面



後 面



職 員 用 防 災 帽
仕 様 書

宇 都 宮 市

仕 様 書

- 1 品 名 職員用防災帽
- 2 規 格 別紙仕様書のとおり
- 3 数 量 20個
- 4 納入期限 令和2年 5月29日
- 5 納入場所 当市の指定する場所

職員用防災帽仕様書

第1 総則

1 目的

この仕様書は、宇都宮市において購入する職員用防災帽について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 概要

防災帽は、職員が着用する物件であり、防災活動に適するものであること。

3 防災帽の条件

防災帽に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

4 その他

仕様書の内容について疑義が生じた場合は、当市と協議の上、解決すること。

2 仕様

1 形状

キャップ（丸ワイド）型、後部サイズ調整用アジャスター付き
指定刺繍入り（前中心及び底）

2 表生地

ポリエステル 100%（当市指定色）

3 補助素材

帽体裏地 ポリエステル100%（黒メッシュ）

底芯 硬質ポリエチレン製

伏テープ ポリエステル100%（黒テープ）

すべり ポリエステル100%（黒3cm巾）

調節 ポリプロピレン製アジャスター

4 縫糸

同系色50番

5 片布

内側のすべりに氏名等を記入できる片布を付ける。

6 刺繍（前面及び底）

前面に【UTSUNOMIYA】をアーチ状、底に月桂樹模様を入れる。
字体は角ゴシック、色は金とするが、詳細は当市の指示を受けること。

7 型崩れ防止用フレーム

前面部の内側にナイロンメッシュのフレームを付ける。

8 菊穴

上部に計4箇所

9 サイズ（下記のとおり）

サイズ	S	M	L	L L	3 L
頭囲（c m）	54～55	56～57	58～59	60～61	62～63